



ごでんば

市議会だより

Letter From the Municipal Gotemba City Assembly

冬
第128号

2026年2月6日発行



静寂の門（議員記者撮影）

- 議会改革特別委員会報告 2
- 一般質問(12人) 3~8
- 行政視察報告 9

- 行政視察報告、議場避難訓練、3月定例会の予定 10
- 議案の審議結果一覧 11
- 小学生議場見学、議長日記、編集後記 12

視覚に障がいがある方のための、音声による「市議会だより」もあります。問い合わせ／図書館 TEL.0550-82-0391

御殿場市議会
Gotemba City Assembly

御殿場市議会

検索



令和7年12月定例会の
一部を録画配信します。

※動画閲覧には通信料がかかります。



ご意見ご質問は
議会事務局へ
ふれあいボックス





一年生1人、二年生5人と、特別委員会の委員が、2つのテーマで意見交換会を実施しました。

①「市議会議員に聞いてみたいこと」では、コロナ禍後の市のイベント開催状況、駅前イベントの企画運営体制、議員の普段の仕事、休日の過ごし方、加えて本市の課題等について質問がありました。

②「一日市長体験を通して感じたこと」では、地域課題から新たなビジネスチャンスがあると感じた。行政に関わる仕事にも関心が出てきて自分の住む街を見直すきっかけになった。自分の提案したことが実現され嬉しかった。などの意見がありました。

今後とも議会をより身近に感じてもらえるように努力していく必要があると実感しました。

議会改革特別委員会報告 未来議会プロジェクト



「どんな市だつたら住み続けたいか」をテーマに、高校生と意見交換会を実施しました。意見交換はグループワーク形式で行い、生徒たちはさまざまな角度より意見を聞くことができました。生徒たちは、御殿場市の交通手段や娯楽場所、居場所、そして、自然環境などの分野にも視野を向けており、真摯に現実社会に対応しているその実直な姿勢に、希望を見いだしました。

人口減少が危惧され、持続可能な未来を創出する必要がある中、今後、本市においても若い世代の視点や姿勢に注視して、市政に反映できるよう我々がさまざまな情報を受け止め、発信していく努力を重ねる必要があると実感しました。



各議員のタイトル下にあるQRコードから一般質問の録画映像にアクセスできます。
※動画の再生には別途通信料がかかります。

一般質問



森

順

無会派
参政党



答 給食時間を「食育の授業」とすることへの見解は。

現行の教育課程で「授業」としては位置付けられていない。家庭科や生活科、総合的な学習の時間などの教科等における学びと関連付けながら、児童生徒が給食を通じて「食について学ぶ」ことができるよう

問 給食時間を「食育の授業」とすることへの見解は。

地場産調味料のうち、しょゆが難しい状況である。

答 収穫量の変動等の影響が比較的少ない地場産調味料の使用拡大への見解は。

地場産調味料については、ほぼ100%地場産を使用している。今後は、みそなど他の調味料の活用拡大についても、供給量などを踏まえながら、関係機関と協議を進めていく。

問 学校給食での地産地消推進の課題について

野菜・加工食品肉は、安定供給が難しい状況である。

答 市民向けの用語集を作成しホームページ等で公開することについて、今後の方針を伺う。

問 市民向けの用語集を作成しホームページ等で公開することについて、今後の方針を伺う。



今年度、栄養教諭が行った
「食育」の授業風景

各学校と連携して取り組んでいる。

カタカナ用語・アルファベット略語の濫用と市民理解の促進について



小林

昌美

至誠



問 保育行政の課題と今後の保育施策について

答 第2子以降の保育料及び副食費の無料化の評価について

この施策は県内でも先進的な取り組みであり、市民意識調査の結果では、上位に支持されており、特に30代から40代の満足度が高いことが明らかになっている。保育料などの無料化の効果を実感している声が多く寄せられており、子育て家庭への施策の有用性が着実に広がっていることが伺える。

答 施設整備を中心としたハード面の整備、ソフト面では保育士の人材体制の強化、保育の質の向上、子育て家庭への経済的支援など、多くの取り組みを進めてきた。

問 これまでの保育施策について

施設整備を中心としたハード面の整備、ソフ

ト面では保育士の求人活動などを補助する支援策を来年度から導入する。

また、経済的不安解消に向けて、来年度から全国でも先駆的な取り組みとして第1子の保育料を5割軽減する。安心して子育てできる環境を整備し、御殿場市で子どもを産み育てたいと思えるまちづくりを力強く進める。市全体で子どもと子育て家庭を支え、持続可能で質の高い保育行政の実現に取り組んでいく。





中島
な
か
しま

宏明
ひ
ろ
あ
き

至誠



御殿場市における自衛隊との共存共栄について

可能にするなど、市全体の発展につながっている。

これまでの御殿場市と自衛隊との共存共栄の歴史及び現状について

答 本市と自衛隊との関わりは、昭和34年の東富士演習場使用協定締結に始まり、本年第十三次使用協定が締結された。自衛隊には市の防災訓練への協力をはじめ、さまざまな行事に参加・支援をいただき、各駐屯地も記念行事や夏祭りなどで駐屯地を解放し地域交流に努めている。また、スポーツタウン御殿場のブランド力向上とスポーツ交流によるまちづくりにも貢献している。



滝ヶ原駐屯地創立記念行事(夏祭り)

答 昨年度総務課に新設し、自衛隊との連携の下、これまで実施してきた自衛官募集や自衛隊イベントの発信に加え、退職予定自衛官への再就職支援や結婚、子どもの就学、住宅の建築など、さまざまなライフィベントを契機とした移住定住などの相談に幅広く対応できる支援を追加していく。市長の考え方として、今後も協力と連携を積み重ね、信頼関係を強固にし「共にあり、共に栄える」と示した。



勝又
まさ
と

正人
まさ
と
市民
21

空き家対策の現状と今後の取り組みについて

空き家対策を移住・定住策として位置付けた攻めの政策をしていく。

県が示す空き家に関する判定基準の進展状況について

答 静岡県では空家等対策市町連絡会議のワーキンググループにおいて「特定空家・管理不全空家判定基準」の策定を行い、本年11月19日の連絡会議にて承認された。

答 固定資産税の納付通知と同封で制度周知のチラシの封入ができるないか伺う。

答 空き家対策で重要な事は、空き家をタイムリーにとらえ、さまざまな分野でのマッチングを図りながら活用を図っていくことである。補助金による支援についても状況を踏まえながら今後検討していく。空き家対策は受け身の姿勢では進展しない。タイマーにスピード感を持つて、引き続き攻めの姿勢で取り組んでいく。

残置物処理費用や相続登記支援を補助対象として、空き家バンクの登録を必須とする制度創設について



空き家リフォームのイメージ



問

回収ボックスなど設置場所の拡充や
周知啓発、事業者との連携について

答

「家電量販店では破損や膨張、
海外製品のリチウムイオン電池
は回収してもらえないかった。」「市で回
収して欲しい。」「処分方法が分からな
い。」などの声が寄せられた。

問

回収の現状と課題について

答

本市のリチウムイオン電池
回収の現状と課題について



高村
芳章

よしあき

改新



答

回収ボックス設置場所は増設を
検討中である。回収方法や回収
場所については「広報ごてんば」やホー
ムページ、SNSほか、さまざまな方法で
早期にお知らせする。

答

リチウムイオン電池の危険
性の市民周知と回収の安全性
確保について

答

取り扱いに係る注意喚起を「広
報ごてんば」やホームページ等で
周知する。回収では、業務員がその都度
分別し、職員へ手渡しとして安全
性を確保している。また、処理施設では
絶縁作業や屋外保管で完全性を確保
している。

答

リチウムイオン電池回収への
市民からの声について

答

ハンセン病問題基本法第五
条に定める福祉増進等施策
の取り組みは。

答

中学生に対する啓発映画の上
映など普及啓発事業や人権教
育、市民との交流事業を行ってきた。引
き続き行っていく。

答

ハンセン病問題基本法第一
二条に定める土地などの利
用に係る市の取り組みは。

答

国立駿河療養所の入所者自治
会から具体的な要望等はいただ
いたことはないため、土地等を市や地域
住民などの利用に供することは考えて
いない。



池谷
晴一

せいいち

無会派



答

東海・北陸地区唯一のハンセ
ン病療養施設がある本市は、迫害、
差別の歴史の後世への継承や施設の
有効活用等施策を進めなければな
らない。

問

国立駿河療養所将来構想の
実現は今が正念場である。こ
のままでは施設が無くなり、職員も
いなくなる危惧があるが。

答

国は「入所者がいなくなつた後、
直ちに施設を売却するとは考え
ていない」と回答している。国の施設で
あるため、職員の雇用も国が対処すべき
であると考える。

問

ハンセン病に係る施策推進の
市長の考えは。

答

両施設は、ハンセン病に関する歴
史などを理解するために重要な
「共生社会」のシンボルである。駿河療
養所施設などの利用については国の明
確な方針が示されていない中、入所者の
最後の一まで安心して穏やかに暮ら
し続けられるよう国に強く要望し、支
援していく。





一般質問

各議員のタイトル下にあるQRコードから一般質問の録画映像にアクセスできます。
※動画の再生には別途通信料がかかります。

一般質問



勝間田 博文 ひろふみ 公明党



**自治体フロンティヤード改革
(窓口DX)の推進について**

問 ライフイベントのワンストップ手続きについて伺う。

答 出生・結婚・転居・死亡などのライフイベントに起因する手続きは数多くある。ワンストップ化の最大の意義は、手続きを一つの窓口で、効率よく申請できることである。これにより市民負担は大きく軽減し、行政は業務効率化のメリットがある。

問 おくやみワンストップの今後の方針について伺う。

答 市全体のフロンティヤード改革の基本方針に照らしても、改革の指標となる取り組みであり、着実な実現が必要とされる。実現に向け「おくやみワンストップ」プロジェクトチームをできるだけ早期に設置する。市民に寄り添い、本市に最も適した運用となるよう取り組んでいく。

自然環境等に配慮した再生可能エネルギーの導入推進について



再エネ発電事業に係る条例整備について

問 全国的に課題となつている景観上の問題、メガソーラー問題なども含め、市民の生命や生活を脅かすことのないような仕組みづくりが必要であると考える。

答 上の問題、メガソーラー問題なども含め、市民の生命や生活を脅かすことのないような仕組みづくりが必要であると考える。

問 再エネ導入推進に向けた今後の展望について伺う。

答 条例の目的達成を含め、市民をはじめ再エネ発電事業に関わる全ての関係者が協調しながら自然環境や生活環境と調和した持続可能な地域社会の実現に向け真摯に取り組んでいく。

クマ対策について

全国でクマの出没数及び人的被害が過去最多となり深刻な状況である。本市及び周辺市町においてもクマの目撃情報が多く、住民等の不安が大きい。

問 市民への目撃情報の提供は。

答 痕跡の有無に関係なく市ホームページへの掲載や看板などの設置を実施している。

問 住民等への注意喚起は。

答 情報が寄せられた場所には注意喚起の表示を設置し、住民への呼びかけを行っている。また、市鳥獣被害対策実施隊が一定期間現地を巡回し、状況確認や必要な対策に取り組んでいる。さらに、出没防止策として、果樹や生ごみなどを放置しないよう注意を呼びかけている。



ツキノワグマ
(出典:静岡県ホームページ)

獣友会員及びクマ駆除スキルを持つ人の現状は。

問 駿東獣友会御殿場支部の会員数は81名で、クマの駆除に必要なライフル銃の所持許可を得ている会員は13名である。

問 一般的なクマ出没時の対応は。

答 安全確保を最優先に、追い払いの実施や、わなの設置など、マニュアルに基づき対応する。緊急銃猟を行う際、マニュアルに記載された撃ち手を3名選出している。

問 学校におけるクマ出没時の対応は。

答 市内で出没事案を認知した場合は、迅速に保護者へ連絡ができる体制を確保した上で、登校の見合せや、保護者の送迎などの対応を検討する。

神野 義孝 じんの よしお 新風



獣友会員及びクマ駆除スキルを持つ人の現状は。

問 駿東獣友会御殿場支部の会員数は81名で、クマの駆除に必要なライフル銃の所持許可を得ている会員は13名である。

問 一般的なクマ出没時の対応は。

答 安全確保を最優先に、追い払いの実施や、わなの設置など、マニュアルに基づき対応する。緊急銃猟を行う際、マニュアルに記載された撃ち手を3名選出している。

問 学校におけるクマ出没時の対応は。

答 市内で出没事案を認知した場合は、迅速に保護者へ連絡ができる体制を確保した上で、登校の見合せや、保護者の送迎などの対応を検討する。

答

問

答

問

答

問

本市は、不妊・不育症治療助成
から妊娠婦健診、産後ケア、経済

不妊・不育症治療や妊娠婦へ
の支援について

産科医・助産師の確保と定着を
重要課題と認識している。県施策と連
携しつつ、子育て支援や勤務環境改善な
ど、市独自の定着支援を推進していく。

産科医・助産師の定着支援の
強化について

御殿場小山医療圏では共立産
婦人科が分娩の中核を担い、市
は医師確保や24時間体制維持への補助
で支援してきた。今後も分娩数減少や
物価高を踏まえ、国・県の動向を注視し
支援拡充をしていく。市は運営や産科
医師確保について最大限の支援をして
おり、これからも続けていく予定である。



本市医療圏域における産科 医療体制について

分娩を取り扱う医療機関の
現状について

的支援までを切れ目なく実施している。
今後も専門職による伴走型支援や、知
識普及を強化し、「御殿場らしい」安心
して産み育てられる支援体制の充実を
図っていく。



芹澤
勝徳

かつのり
至誠



後藤
真弥

しんや
ごてんば
新風



富士山Gコインについて

富士山Gコインの運用状況について

共立産婦人科医院の老朽化
対策について

共立産婦人科医院の老朽化は、
北駿地域全体の周産期医療の
持続性に直結する重要課題である。市
は唯一の分娩医療機関としての役割を
重く受け止め医師確保状況や運営状
況を継続的に共有しつつ、国・県・医療
機関などと連携し、将来にわたり分娩
機能を守る方針で支援を続けていく。

本市は医師少數スボットとして
産科医・助産師の確保と定着を
重要課題と認識している。県施策と連
携しつつ、子育て支援や勤務環境改善な
ど、市独自の定着支援を推進していく。



富士山Gコインについて

富士山Gコインの今後について

富士山Gコインは、市民への普及
を目指した第1フェーズから、行
政区域の枠を超えた利活用促進など
を目標第2フェーズに移行してきた
。その進展により、富士山Gコインを
介した新たな経済圏が誕生し、さらに
は全国から訪れる1500万人の観光
客に浸透を図ることができれば、本市は
もちろん、富士山麓地域全体の発展に
つながっていく。将来的には、観光と結
びつけ、宿泊税との連携も視野に検討
していくことも重要と考えている。

地域循環性の向上について

富士山Gコインは、地域経済の
活性化はもとより、子育て支援
・人口対策・健康増進・ボランティア育成・
人手不足解消・環境対策など、市が現
在取り組むべき施策に活用している。財
源の一部にJ-レジット売却益も活
用し、環境と経済の好循環を生み出す
御殿場型循環モデルを構築している。こ
うした市の施策との連動という信頼性・
安心感のもとに、民間事業者による活
用も活発化しており、官民含めたまち
づくり全体の好循環を生み出している。



各議員のタイトル下にあるQRコードから一般質問の録画映像にアクセスできます。
※動画の再生には別途通信料がかかります。

一般質問



高木 理文

まさふみ
日本共産党



口ケット砲訓練等への対応について

こども誰でも通園制度への本市の対応について

り』などの条件は、守られるべきと認識している。

問 全国でも例のない、国道を交通規制し、住民生活を巻き込んだ訓練への見解は。

答 地元への影響や負担を考えれば、見合わせるべきというのが地元の強い要望だったが、我が国の安全保障政策の取り組みとしての訓練である以上、苦渋の決断として、「今回限り」などの条件を付し、実施された。

問 国産スタンド・オフ・ミサイル配備計画の公表を受けて住民は大きな不安を感じている。「東富士演習場又はその周辺をミサイル基地化しないこと」は住民の安全感にとつて大きな課題である。ロケット砲訓練は「今回限り」を貫徹することと、今後の対応を伺う。

答 国からは、「『東富士演習場又はその周辺にミサイルを持ち込まない』ことが確認されていることについて、確認する。」と回答を得ている。当然ながら、射撃訓練にあたっての『今回限



国道を規制したハイマース射撃訓練2025.10.27

新図書館整備事業について

問 建物本体工事費が想定規模額23億円から35億円と大幅な増額となつた経緯と要因は。

答 「こども誰でも通園制度」は、「保護者の就労状況を要件とせず、6か月から満3歳未満の保育所などに通わない乳幼児が通園できる制度である。本市における制度の概要を伺う。

問 新たな通園給付として実施され、未就園児約520名が対象となる見込みである。実施施設は公立保育園1カ所を計画し、準備を進める。

答 新たな通園給付として実施され、未就園児約520名が対象となる見込みである。実施施設は公立保育園1カ所を計画し、準備を進める。

問 新図書館の年間の運営管理費はどの程度になると見込んでいるのか。

答 土地の借上料や図書資料などの購入費を含んだ指定管理料などを合わせて1億8900万円余となる。

問 今後の人口・税収の減少を踏まえたうえでの新図書館整備事業費の妥当性は。



阿久根真一

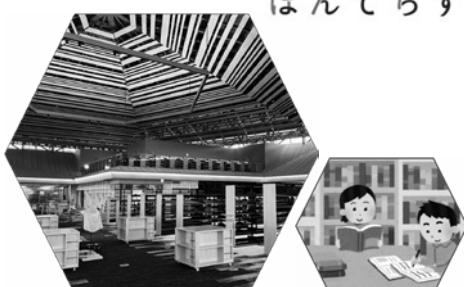
あくね しんいち
改新



答

今回の新図書館整備は、財政健全性を維持するための財政計画、起債計画の中にしっかりと織り込み、5つの財産区や市内の各法人や団体をはじめ、クラウドファンディングなど、温かい想いを込めた繰入金や寄付金など財源を確保した中で「オール御殿場」で取り組んできた事業である。新図書館には、長年の市民の願いであった郷土資料館も併設されることから、従来型の図書館規模を想定したものである。実施設計・詳細設計段階では、市民ニーズなどを可能な限り反映し、またコロナ禍後の資材や人件費の急激な高騰を受け設計変更や追加機能に伴うコスト増を反映した結果、当初の想定より約12億円増の約35億円の見込みとなつた。

答 今回の新図書館整備は、財政健全性を維持するための財政計画、起債計画の中にしっかりと織り込み、5つの財産区や市内の各法人や団体をはじめ、クラウドファンディングなど、温かい想いを込めた繰入金や寄付金など財源を確保した中で「オール御殿場」で取り組んできた事業である。新図書館には、長年の市民の願いであった郷土資料館も併設されることから、従来型の図書館にとどまらず、生涯にわたる学びの機会、地域交流の活性化、そして豊かな文化的創造に貢献し、市民のウェルビーイングの向上、市民の元気につながる施設にしていく。



議会運営委員会

10/9

行政視察報告

報告書はこちら



【視察先：静岡県三島市】
市議会における監視機能及び
委員会機能の強化について

三島市議会では、議選監査委員を廃止するとともに付属機関等への議員選出を減らすことにより市議会の監視機能を強化し、また、委員会では付託された議案の審査において委員間の自由討議を活発に行っていた。

本市議会にとって示唆に富んだ事例であり、今後の議会運営において参考になる視察研修であった。

議会運営委員長 菅沼 芳徳

総務委員会

10/10

行政視察報告

報告書はこちら



【視察先：静岡県菊川市】
きくがわ茶柱生活について

きくがわ茶柱生活とは、茶柱が立った時のように、ワクワクした気持ちで日々を過ごす人を呼び込む施策である。

人口減少対策、農業のブランド向上、コミュニティバス、女性の就労支援など多岐にわたっており、移住者から新しい市の魅力が発信されている。

本市においても、この地に誇りと愛着を持ち、住もうと思う事業展開が必要である。

総務委員長 神野 義孝

福祉文教委員会

10/28 ▶ 29

行政視察報告

報告書はこちら

【視察先：茨城県牛久市】
生涯学習について

市内に5つの生涯学習センターがあり、生涯学習講座を開催している。講座の内容は文化・芸術・美容・健康など多岐にわたり、受講者の満足度は95%以上であった。また、市民が自ら企画し講師となつて開催する「企画講座」を前期、後期に分けて募集し、これまで多くの方が活躍している。当市でも「自身の経験を皆に教えたい」と思っている市民による講座の開催を検討しても良いのではないかと考える。

百年塾は、推進本部を中心とした市民力アップにつながる。市民力アップは、茨城キリスト教大学と連携し、前期、後期に分けて開講している。市民力アップは、茨城キリスト教大学と連携し、前期、後期に分けて開講している。講師は主に大学教授や市職員でカレッジ卒業生が百年塾の推進委員として活躍していた。市民主体の学びと地域

【視察先：茨城県日立市】
ひたち生き生き百年塾・ひたち市民カレッジについて

づくりを両輪とした仕組みづくりを進める上で、大きな示唆を得ることができた。

【視察先：茨城県小美玉市】
地域学校協働活動について

令和3年度よりコミュニティスクールを開始し、令和4年度から市内すべての学校で実施している。最初は意味も分からなかつたが、今では学校からの要望だけでなく、地域の方々の方からお手伝いをしたいと言つてきている。また、居住地域でない他の学校の支援にも積極的に参加している方もいるとのことであった。

福祉文教委員長 小林恵美子



報告書は[こちら](#)

創業支援事業について
〔視察先：山梨県北杜市〕

創業前の整備費や広告宣伝費への補助、空き店舗活用の支援・信用保証料・融資利子の補助など創業者の初期負担を軽減する仕組みが整っている。これにより移住者層を中心とした高い創業継続率が維持されている。

〔視察先：長野県松本市〕
松本城三の丸エリア整備事業

について

「使うから作る」という考え方を軸に、公共空間を利用することを前提としたまちづくりを進めている。あくまでも行政が脇役となり、実際の企画や運営は市民・事業者が主役となっていて、公民連携の好事例になっている。

〔視察先：長野県下諏訪町〕

空き店舗対策で商店街を活性化する取り組みについて
地域おこし協力隊があり、メンバーは移住者や若者となっており、be-th合同会社が情報を共有して商店街の活性化と、都心部からの事業者を誘致して、活性化させている。

南アルプスIC新産業拠点整備事業について
〔視察先：山梨県南アルプス市〕

中部横断自動車道IC付近に、新たな大企業が参入することで新しいライフスタイルを実現している。将来にわたり持続可能なまちを形成するための拠点の創造を目指している。

経済環境委員長 田代 耕一



避難訓練実施



12月定例会最終日（12月16日）会議終了後、避難訓練を行いました。会議中の地震を想定したので、議員・職員は議場から外へ避難し、その後議長・市長より講評がありました。



いずれの日も傍聴することができます。当日、市役所東館3階の議会事務局で受け付けをしております。傍聴託児サービスも実施しておりますので、ご利用の場合は、傍聴希望日7日前までにお申し込みください。

25 水	13 金	12 木	10 火	9 月	一般質問	代表質問	3月 26 木	25 水	20 金	2月 市長施政方針ほか
付託議案・追加議案 審議採決	8年度当初予算質疑	8年度当初予算質疑			8年度当初予算説明	8年度当初予算説明				

3月 定例会の予定

**3月 定例会
2/20~3/25(34日間)**
時間はいずれも 午前10時~

12月

定例会で決まったこと

議案の審議結果一覧



12月 定例会

議案書等資料については
ホームページに掲載しています

全会一致で可決等された議案

予算
[5件]

- 令和7年度御殿場市一般会計補正予算(第5号)について
- 令和7年度御殿場市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
- 令和7年度御殿場市救急医療センター特別会計補正予算(第2号)について
- 令和7年度御殿場市介護保険特別会計補正予算(第1号)について
- 令和7年度御殿場市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

条例
[10件]

- 御殿場市新型コロナウイルス感染症対策推進基金条例を廃止する条例制定について
- 御殿場市印鑑条例の一部を改正する条例制定について
- 御殿場市債権管理条例の一部を改正する条例制定について
- 御殿場市営住宅条例の一部を改正する条例制定について
- 御殿場市上水道事業給水条例等の一部を改正する条例制定について
- 御殿場市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 御殿場市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 御殿場市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 御殿場市特別職の職員で常勤のものの給料等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 御殿場市議会の議員に対する議員報酬及び期末手当の支給並びに費用弁償条例の一部を改正する条例制定について

事件議決
[9件]

- トイレトラックの取得について
- 御殿場市富士山交流センターの指定管理者の指定について
- 御殿場市地区コミュニティ供用施設等の指定管理者の指定について
- 御殿場市たくみの郷の指定管理者の指定について
- 駿東地域職業訓練センターの指定管理者の指定について
- 御殿場市都市公園(秩父宮記念公園及び遊RUNパーク玉穂、友愛パーク・朝日を除く)の指定管理者の指定について
- 御殿場市地区広場等施設の指定管理者の指定について
- 玉穂地区屋内プール施設及び玉穂地区コミュニティ供用施設の指定管理者の指定について
- 友愛パーク・朝日の指定管理者の指定について

報告 [1件]

- 専決処分の報告について(御殿場市営住宅に係る建物明渡等の請求に関する訴えの提起について)

賛否が分かれた議案

○…賛成 ×…反対
※議長(永井 誠一)は採決に加わりません。

御殿場市乳児等通園支援事業
の設備及び運営に関する基準
を定める条例制定について

高木	森	阿久根	永井	後藤	芹澤	小林	横山	辻川	池谷	菅沼	高村	川上	中島	小林	勝間田	勝又	林	神野	田代	
理文	順	真一	誠一	真弥	勝徳	昌美	大	公子	晴一	芳徳	芳章	秀範	宏明	恵美子	博文	幹也	正人	義浩	義孝	耕一

可決

×	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---



元気いっぱいの富士岡小学校の皆さんのが議場見学に訪れ
市議会の仕組みについて
真剣に聞いてくれました。

御殿場市議会議長 永井 誠一

私も御殿場市議会は、市民の皆さんに寄り添った開かれた議会を目指し、一年活動し、各委員会での議会報告会や高校生議会などを通じて、市民の皆さまとの対話を深めてまいりました。また、個々の議員の資質向上に努め、議員間討議なども重ねることが出来ました。議会改革はまだ道半ばではありますが、市議会一同、市民の皆さまの負託に応えられますよう、今後も精一杯活動してまいります。

議長日記



御殿場市議会広報委員会

〈委員長〉辻川 公子

〈副委員長〉横山 大

〈委員〉

高木 理文／森 順／後藤 真弥
小林 昌美／池谷 晴一／高村 芳章
小林恵美子／勝間田幹也／勝又 正人

広報副委員長

横山 大

編集後記

今期も最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。立春を迎える御殿場では、澄んだ朝の空氣に富士山が凜と姿を見せ、地域の行事でも市民の皆さまの温かさに触れる機会が増えています。

広報委員会では、市民の皆さんに市政への関心を高め、市議会の活動をお伝えするため、限られたスペースにどう表現すべきか真摯に検討してきました。本号にもその想いの一端を盛り込みましたので、今後わい意見をお寄せいただければ幸いです。



発行/御殿場市議会 編集/広報委員会

御殿場市萩原483 TEL.0550-82-4323 FAX.0550-82-4326

市議会だよりには再生紙を使用しています。印刷／有限会社 戸塚印刷所